



7月31日 道の駅11周年記念・とうもろこしまつり 焼きとうもろこし・収穫体験が盛況

オープン11周年を迎えた道の駅「あぐりーむ昭和」では、感染症対策に配慮し、記念イベントと「とうもろこしまつり」を開催しました。この日の目玉企画として行われた焼きとうもろこしコーナーや、とうもろこしの収穫体験には、家族連れなど多くの方が訪れました。

前橋市から一家で訪れた内田由麗花さんは「日頃、なかなかできないとうもろこしの収穫体験を子どもたちと楽しめました。夏のいい思い出になります」と話していました。



とうもろこしの収穫体験も盛況



行列ができた焼きとうもろこし



7月 JFAトレセン群馬U-12メンバー選出 星野寛太君が県選抜選手に

村を拠点に活動するサッカークラブ「FC昭和」(和南城^{ひやし} 監督)所属のゴールキーパー、星野寛太君(大河原小学校6年)が、サッカー12歳以下の群馬県選抜選手に相当するJFAトレセン群馬U-12メンバーに選出されました。今後は、関東大会をはじめとした各種大会に代表選手として出場します。

星野君は「サッカーに打ち込んでいる時間が楽しい。練習を大切に、これからの大会で活躍することが目標です」と話していました。



県選抜選手となった星野寛太君



7月14日 昭和中学校で地域学習講演会 ふるさと発展の歴史を学ぶ

昭和中学校(秋元秀文^{ひでふみ} 校長)で地域学習講演会が開かれ、1年生と3年生が受講しました。講師は、赤城北ろく土地改良区事務局長の小池和弘^{かずひろ}さん(松ノ木平第一)と、村議会事務局長の島田宏充^{ひろみつ}さん(三ツ谷)。

小池さんは、干ばつ地帯だった赤城の大地に、先人たちがいかに努力して農業用水を勝ち取ったかについて解説しました。また、島田さんは、元気な昭和村を農業や企業、友好交流自治体など多角的な視点から紹介。生徒たちは熱心に耳を傾けていました。



壇上で説明する小池和弘さん(左)と島田宏充さん

ニュース・トピックスでは、村の出来事や話題など昭和村の「今」をお知らせします。



8月5日 群馬県中学校総体の結果報告 昭和中剣道部女子が関東大会出場

昭和中学校剣道部(小林武瑠監督)の女子団体チームが村公民館を訪れ、県中学校総体での準優勝と関東大会出場決定を堤村長に報告しました。

この日、訪れたのは同校女子剣道部3年の櫻澤ななさん、高橋寧々日さん、武井美緒さん、見城心萌さん、高橋幸さん、横坂光咲さん。主将の櫻澤さんは「県大会では、自分たちの持ち味を發揮して戦えました。緊張感もあるが、関東大会は群馬県代表として堂々と頑張りたい」と抱負を語りました。



関東大会出場を決めた女子団体チーム



8月5日 高校総体・フェンシング競技 笠原怜姫さんが全国3位入賞

沼田女子高校1年の笠原怜姫さん(田岸)が、香川県高松市で開かれた全国高等学校総合体育大会(インターハイ)フェンシング女子エペの部で3位入賞の快挙を果たしました。また、女子団体でも、笠原さんがチームをけん引し8位に入るなど活躍しました。

笠原さんは「今は1年生ということもあり、ベスト8が目標だったので3位入賞できて驚いています。負けた悔しさもあり、来年につなげたいですし、将来はオリンピックを目指したいです」と抱負を語りました。



全国3位に輝いた笠原怜姫さん(中央)と母の生子さん



8月30日 優良道路愛護団体表彰 吹張に特賞と日本道路協会表彰

長年にわたり、道路愛護活動に貢献したとして、吹張道路愛護会(吹張区、角田知明区長)に、群馬県と群馬県道路協会から優良道路愛護団体表彰の特賞が、また、日本道路協会から道路功労者表彰が贈られました。

同会で吹張区長の角田さんは「長年、区民の皆さんに協力いただきながら道路愛護を続けてきたことが、今回の受賞につながったと感謝しています。これからも、地元の環境美化のために引き続き協力いただければ」と話していました。



吹張道路愛護会の角田区長



8月26日 昭和村・群馬ヤクルト販売(株)が協定 健康増進や防犯などで連携

昭和村と群馬ヤクルト販売株式会社(塩谷輝行社長)が、住民の健康維持や見守り、地域づくりの分野での協力を目的に包括連携協定を締結しました。

連携していくのは、健康増進や高齢者支援、防災や防犯対策などです。同社は、健康づくりのための講演会開催や、販売スタッフが戸別訪問時に高齢者を見守ることなどを想定。堤村長は「村民の健康を第一に、連携事業を進めていきたい」とあいさつ。塩谷社長は「住みやすい村のため尽くしたい」と述べました。



協定を締結した堤村長と塩谷社長

6月22日～9月9日 森下地区・通学路沿いの草木伐採 石坂建設(株)が地域貢献

石坂建設株式会社(諸田光二社長)が、地域貢献として森下地内の通学路沿いや付近の畑で、通行者の視界を遮っていた草木を無償で伐採していただきました。

これにより、急カーブの先にある車両や歩行者が見やすくなりました。諸田社長は「小学校に通う子どもたちの安全に役立てば幸いです」と話していました。



草木により左カーブの先が見えない通学路



視界を遮っていた畑の雑草を除去



伐採により見通しが改善

7月12日、21日 糸井地区、森下地区で清掃活動 利根保健生協が地域貢献

利根保健生活協同組合の昭和東支部と昭和南支部が「わがまち探検&クリーン大作戦」と銘打って、史跡巡りなどを行い地元地域を見直すとともに、清掃活動を行いました。参加者は「捨てることが恥ずかしくなるよう、きれいにできれば」と話していました。



糸井地区で行われた昭和東支部の清掃活動(21日)



昭和南支部は森下地区で清掃活動(12日)

8月31日 第二保育園 プール納めで夏に別れ

第二保育園で夏を締めくくるプール納めが行われました。園児たちは、感染症対策のためクラス別にプールに入り、浮かんでいるたくさんのおもちゃをすくいながら、今年のプールに別れを告げていました。



おもちゃすくいで楽しんだ園児たち

8月5日、21日 婦人会が奉仕作業 行き交う人々に「花」で癒しを

村婦人会(竹之内美智枝会長)が、総合運動公園近くに植えたサルビアの手入れを行いました。また、同会役員は道の駅「あぐりーむ昭和」でプランターを整備して設置。行き交う人々の目を楽しませています。



プランターにサルビアを植える婦人会役員の皆さん